

# 学習指導案の形式（例） 中学校特別活動

## 学級活動（１）「学級や学校における生活づくりへの参画」

第○学年○組 学級活動（１）学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

### 1 議題 「○○○○○○○○○○○○○○○○」（例：○○をしよう）

◇事前、本時、事後の一連の活動を指して議題とする。

### 2 生徒の実態と議題について (1) 生徒の実態

◇生徒の学級生活における実態や、学級活動における実態、これまでの学級での取組等について書く。  
◇評価規準を踏まえた、話し合い活動における課題や目指す方向等について書く。

### (2) 議題選定の理由

◇取り上げる議題の内容、今までに取り組んできたこととの関連、その議題を取り上げる意義、議題と生徒との関係等を書く。  
◇議題が選定された背景や、教師の指導観等について書く。

### 3 評価規準（内容のまとまりごとの評価規準）

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
例：～理解している。 ～身に付けている。	例：～見いだしている。 ～実践している。	例：～図ろうとしている。 ～築こうとしている。
<p>◇評価の観点、学習指導要領の特別活動の目標と自校の実態を踏まえて、各学校で設定する。その際、特別活動における資質・能力の視点（人間関係形成・社会参画・自己実現）をもとに重点化を図ることも考えられる。 ◇「内容のまとまりごとの評価規準」は、特別活動の目標や各活動・学校行事の目標、各学校で設定した各活動・学校行事において育成を目指す資質・能力を踏まえて設定する。</p>		

### 4 事前の指導

日時	ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
○月 ○日（○）	○例：～を考える。 ～を決める。	例：～理解している。		
○月 ○日（○）	◇生徒の立場で書く。	例：～身に付けている。	例：～見いだしている。	
○月 ○日（○）		◇「目指す生徒の姿」とは、1単位時間の指導計画において、「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、事前、本時、事後の一連の活動において、具体的に示したものである。その際、事前・本時・事後の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。		

5 本時の展開

(1) 議題

例：〇〇をしよう

(2) 目指す生徒の姿

例：～身に付けている。  
～取り組んでいる。

◇「目指す生徒の姿」とは、「内容のまとめりごとの評価規準」に即して、本時の展開の中で、具体的に示したものである。

(3) 本時の展開

	生徒の活動	指導上の留意点	目指す生徒の姿
導入	1	○ ◇指導者の立場で書く。	
展開	2 ◇生徒の立場で書く。 例えば 「議題の確認」 「提案理由の確認」 「決まっていることの確認」 「話し合いのめあての確認」 「話し合い」 「決まったことの発表」 「話し合いの振り返り」 「先生の話」 「終わりの言葉」等 話し合いの順序が分かるように書く。	○例：～できるようにする。 ～考えさせる。 ◇話し合いの活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。 ・生徒が主体的に学習を進めるための手だて ・生徒が対話的に学習を進めるための手だて ・生徒が学習を深めるための手だて ・生徒一人一人の活動状況に応じた手だて等、具体的な指導・支援が分かるように書く。 ◇話し合いの活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。	◇本時における目指す生徒の姿と整合した評価規準を具体的に書く。 ◇評価方法を具体的に書く。  ○例：～身に付けている。 【評価の観点】 (評価の方法)  ◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ワークシート 等
終末			

◎「十分満足できる活動の状況」と判断する生徒の姿 例：～している。

◇本時の評価規準に照らして、本時で目指す生徒の姿について、想定される生徒の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な生徒の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

6 事後の指導

日時	ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
○月 ○日 (○)	○例：～を考える。 ～を決める。		例：～表現している。	
○月 ○日 (○)	○例：～を確認する。			例：～取り組もうとしている。

◇生徒の立場で書く。

◇事前・本時・事後の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。